

九州兼喜

2025.6

No. 153

令和7年度

「全国安全週間」 にあたって

清水建設株式会社 九州支店 安全環境部 部長 田中 秀樹

今年も『多様な仲間と 築く安全 未来の職場』のスローガンのもと、6月1日から6月30日を準備月間、7月1日から7月7日を本週間として、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的として、第98回全国安全週間が実施されます。

令和6年度は、全社で死亡災害4件、休業災害51件、度数率は0.76で目標の0.57を達成することはできませんでした。九州支店は死亡災害1件、休業災害3件、不休災害31件で度数率は一昨年度0.53に比べ1.12と大幅に悪化し、目標の0.57を大きく上回りました。また、前年17件だった熱中症は、11件と若干減少しましたが、延べ労働時間も減少しており、年々暑くなる環境に対し、さらなる対策が必要になってきます。

死亡災害1件と、休業災害3件の計4件のうち、3件はいずれもトンネル等の目の行き届きにくい場所での災害となっており、また、統計外でも、休業災害が1件トンネルで発生しています。トンネル内での作業は重機での作業に加え、閉塞した場所での作業となるため、決められたルールを徹底することはもちろん、不測の事態等、予定外の作業が発生した場合は、いったん作業を止め、関係者全員で手順を見直し周知したのちに再開する必要があります。今一度、ルールの徹底と手順の見直し、予定外作業の禁止を周知徹底し再発防止に努めていただきたいと思います。

令和6年度の九州支店安全衛生計画は、『ゼロ災を達成するための行動規範』として、

1. 『墜落・転落災害の撲滅』
2. 『建設機械・クレーン関連災害の撲滅』
3. 『倒壊・崩壊災害の撲滅』
4. 『公衆災害・インフラ損傷事故・火災の撲滅』

の4項目です。九州支店独自の重点施策として、九州安全文化を定着させ、事故・災害を自分ごと化し、行動災害を撲滅する！をスローガンとして

1. 具体的に目的を定めた安全パトロールの実施により、実効的なリスクの低減を図る。

2. 事故事例の水平展開と現場への掲示による周知の継続と、一人ひとりが自分事として捉えるための『自分ごと化プロジェクト』の推進により、特に「ずい道関連」「重機・機械関連」「インフラ関連」災害撲滅を図る。

3. 施工担当部署が先頭に立ち、実現性のある施工計画書を事前に作成・検討し、支店危険作業を中心に安全検討会の充実とフォローを図る

4. インパクトのあるサイン(床端・開口部に特化したもの)を作成、展開し、床端・開口部での安全帯使用など、注意喚起・意識高揚を促し、墜落・転落災害を防止する。

の4項目に取り組み、より一層の災害撲滅を目指します。

『自分ごと化プロジェクト』については、すでに取り組みを始めていますが、全社で推進しており、作業グループごとに毎月1回以上、当社の事故・災害の事例をもとに、その災害に対し、自分ならどうするかを考え同種災害を防止するための行動目標を立案し掲示する事により、災害を自分ごとととらえ、同種災害の防止につなげる取組みです。また、『インパクトのあるサイン』は昨年度の全社の墜落災害の傾向を分析したところ鉄骨や足場の組立中の鳶の墜落はほとんどなく、床端部や開口部で作業をしていた土工や型枠大工、養生をしていた吹付工などの墜落災害ばかりということがわかり、そういった人たちに対し『インパクトのあるサイン』を掲示し、墜落・転落災害防止につなげるという取り組みです。

これらの取組みにより、一人ひとりが意識高揚を図り、目標である度数率0.57以下を達成できるよう安全衛生管理活動にご協力をお願いします。

今年も「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」が始まっています。全産業でみると昨年1年間の職場における熱中症の発生状況は、死亡を含む休業4日以上死傷者1195人、うち死亡者は30人となっています。死傷者1195人うち建設業は、216人、全体の2割弱を占めていますが、死亡者は8人と割合は3割と建設業の熱中症による死亡率は高くなっています。

今年度6月1日から、新たに熱中症対策の義務化が始まります。「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間以上を超えて実施」が見込まれる作業が対象です。現場の対応としては、熱中症の恐れのある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するための「体制整備」「手順作成」「関係者への周知」が事業者には義務付けられます。熱中症対策の習慣を身につけるため、教育・環境整備・健康管理・巡回指導を充分に行い、災害防止活動、安全衛生活動の推進をお願いします。

※全国安全週間ポスターは4ページにあります。

令和7年度 清水建設九州兼喜会 並びに 清水建設九州支店取引業者災害防止協議会 定時総会

日 時	令和7年3月4日(火)
場 所	西鉄グランドホテル
出席者	104名

— 式 次 第 —

(司 会) 理 事 山元 健蔵

1. 令和6年度会員物故者の黙祷

1. 開会の辞 副会長 日高 輝幸

1. 会長挨拶 会 長 篠森 義晴

1. 新入会員の紹介

1. 議長選出

(議 事)

●第1号議案

令和6年度兼喜会 災害防止協議会 事業報告

●第2号議案

令和6年度兼喜会青年部 事業報告

●第3号議案

令和6年度兼喜会 災害防止協議会 決算報告

●第4号議案

令和6年度兼喜会 災害防止協議会 会計監査報告

●第5号議案

令和7年度兼喜会 災害防止協議会 事業計画(案)

●第6号議案

令和7年度兼喜会青年部 事業計画(案)

●第7号議案

令和7年度兼喜会 災害防止協議会 予算(案)

●第8号議案

会員の動向、その他

1. 閉会の辞

副会長 島田 茂

定刻通り山元理事の司会で開催され、日高副会長の議長によりそれぞれの議案が審議され、無事承認されました。



兼喜会議事録

○理事会

日 時	1月9日(木) 12:00～
場 所	兼喜会事務所
出席者	調達部より谷口部長 様 篠森会長他8名

【議 題】

1. 令和7年九州兼喜会定時総会の件
2. 令和6年 決算報告
3. 全国連合兼喜会第66回定時総会(九州大会)の件
4. その他

○理事会

日 時	2月6日(木) 12:00～
場 所	兼喜会事務所
出席者	調達部より谷口部長 様 篠森会長他8名

【議 題】

1. 令和7年九州兼喜会定時総会の件
2. 第1回全国連合兼喜会支部長会議の件
3. その他

○令和7年度 九州兼喜会青年部総会

日 時	4月11日(金) 16:00～
場 所	アクア博多貸会議室



総会では島田相談役よりご講話いただきました。また懇親会では梅山副支店長様をはじめ、支店の皆さま、九州兼喜会より篠森会長、日高副会長、島田副会長もご出席いただきとても和やかな雰囲気です。懇親を深めることができました。



○全九州役員会

日 時	3月4日(火) 14:00～
場 所	西鉄グランドホテル
出席者	篠森会長他15名

【議 題】

1. 令和7年 九州総会の件
2. 全国連合兼喜会第66回定時総会(九州大会)の件
3. 青年部
4. 安全大会の件
5. その他
6. 各支部の意見

○全国連合兼喜会第66回定時総会九州大会実行委員会

日 時	2月3日(月) 12:00～
場 所	兼喜会事務所
出席者	調達部より谷口部長 様、中村 様 日高副委員長他10名

○第1回全国連合兼喜会支部長会議

日 時	3月14日(金) 12:00～15:00
場 所	帝国ホテル 桜の間
出席者	篠森会長、日高副会長、 島田副会長

○青年部支部長会議

日 時	4月11日(金) 12:00～
場 所	支店5階会議室

○青年部幹事会

日 時	2月3日(月) 14:00～
場 所	兼喜会事務所

日 時	2月27日(木) 12:00～
場 所	兼喜会事務所

日 時	3月24日(月) 12:00～
場 所	兼喜会事務所

全国安全週間 + 7/1~7

準備月間
2025 6/1~30



多様な仲間と 築く安全 未来の職場



SHIMIZU CORPORATION
SHMZ
安全構築本部

諸行事

新年互礼会

日時／1月6日(月) 16:00~
場所／支店5階 会議室



新春祈願

日時／1月6日(月) 7:45~
場所／警固神社
出席者／篠森会長他7名

安全祈願祭

日時／1月15日(水) 8:00~
場所／大本山成田山久留米分院

豊川稲荷祭

日時／2月12日(水) 14:00~
場所／支店社屋屋上

品質大会

日時／2月25日(火) 13:30~
場所／支店5階 会議室

会員の動向

新入会員

- | | |
|--------------------------------|--------|
| ○(株)天本緑地造園 (造園)
会員名→伊関 修 | R7.1.1 |
| ○(株)トモ建設工業 (内装仕上)
会員名→名嘉真 毅 | R7.1.1 |
| ○浜興(株) (鳶・土工)
会員名→濱里 亮 | R7.1.1 |

住所変更

- | | |
|--|----------|
| ○高島屋スペースクリエイツ(株)九州営業所 (内装仕上) | R7.5.7変更 |
| 〒812-0025
福岡県福岡市博多区店屋町8-17
いちご博多明治通りビル4階 401 | |

発行所 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
清水建設九州支店内 九州兼喜会

印刷所 川本印刷株式会社
TEL 092-591-5110